

食品製造業の売上DI

—平成21年10月—

【概要】

1 売上予測DI

食品製造業における平成22年1月の売上予測DI（先行き平成21年12月～平成22年2月の予測で中間月で示す。以下同じ）は、37.5（最低=0、最高=100で分岐点は50、以下同じ）で、前月に比べて▲1.4ポイントとなった。

業種別にみると、調理食品が39.3で最も高く、次いで水産食料品が37.9、畜産食料品が37.5、農産食料品が37.3、コーヒー・茶系飲料が30.0となっている。

図1 総合「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

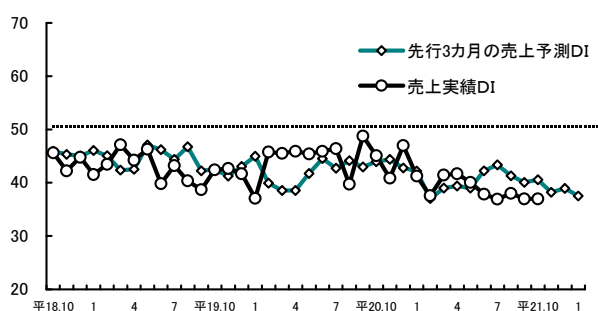


表1 先行3カ月の売上予測DI

	平21.11月	12月	平22.1月	前月差
総合	38.2	38.9	37.5	▲ 1.4
畜産食料品	41.7	37.5	37.5	0.0
水産食料品	43.4	41.4	37.9	▲ 3.5
農産食料品	34.9	37.3	37.3	0.0
コーヒー・茶系飲料	35.0	30.0	30.0	0.0
調理食品	37.5	42.5	39.3	▲ 3.2

2 売上実績DI

食品製造業における平成21年10月の売上実績DIは37.0で、前月とかわらない。

業種別にみると、水産食料品が41.9で最も高く、次いで畜産食料品が41.7、調理食品が35.7、コーヒー・茶系飲料が35.0、農産食料品が34.3となっている。

図2 売上実績DI

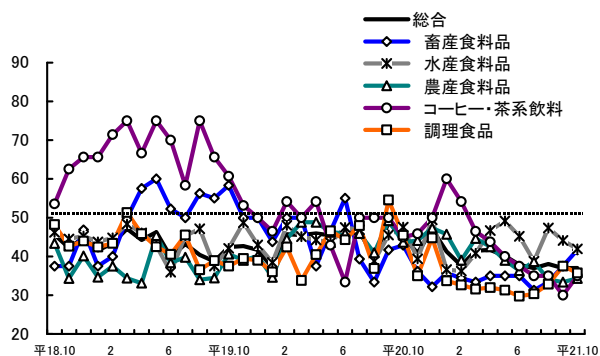


表2 売上実績DI

	平21.8月	9月	10月	前月差
総合	38.0	37.0	37.0	0.0
畜産食料品	33.3	37.5	41.7	4.2
水産食料品	47.4	44.1	41.9	▲ 2.2
農産食料品	34.1	33.3	34.3	1.0
コーヒー・茶系飲料	35.0	30.0	35.0	5.0
調理食品	32.8	37.5	35.7	▲ 1.8

3 製品販売価格DI

食品製造業における平成21年10月の製品販売価格DIは42.9で、前月に比べて▲2.3ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が50.0で最も高く、次いで調理食品が47.6、コーヒー・茶系飲料が45.0、水産食料品が42.4、農産食料品が40.7となっている。

図3 製品販売価格DI

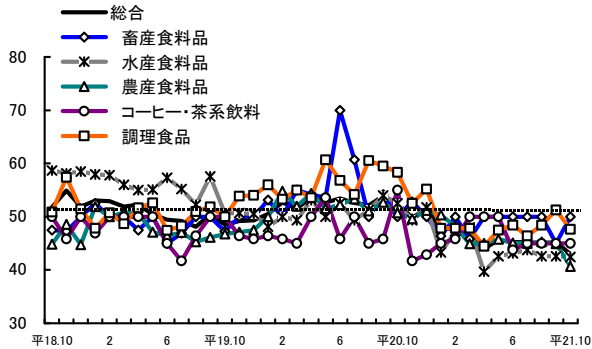


表3 製品販売価格DI

	平21.8月	9月	10月	前月差
総合	45.0	45.2	42.9	▲ 2.3
畜産食料品	50.0	45.0	50.0	5.0
水産食料品	42.6	42.6	42.4	▲ 0.2
農産食料品	45.3	44.9	40.7	▲ 4.2
コーヒー・茶系飲料	45.0	45.0	45.0	0.0
調理食品	48.4	51.3	47.6	▲ 3.7

4 原料価格予測DI

食品製造業における平成22年1月の原料価格予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成21年12月～平成22年2月の予測で中間月で示す。以下同じ）は48.8で、前月に比べて▲0.5ポイントとなっている。

業種別にみると、畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0で最も高く、次いで水産食料品が49.2、農産食料品が48.7、調理食品が47.5となっている。

図4 原料価格予測DI

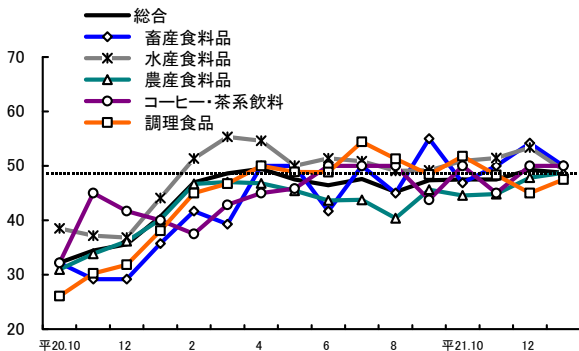


表4 原料価格予測DI

	平21.11月	12月	平22.1月	前月差
総合	47.5	49.3	48.8	▲ 0.5
畜産食料品	50.0	54.2	50.0	▲ 4.2
水産食料品	51.4	53.4	49.2	▲ 4.2
農産食料品	44.8	47.8	48.7	0.9
コーヒー・茶系飲料	45.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	48.3	45.0	47.5	2.5

5 原料需給予測DI

食品製造業における平成22年1月の原料需給予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成21年12月～平成22年2月の予測で中間月で示す。以下同じ）は48.6で、前月比1.9ポイントとなった。

業種別にみると、農産食料品が50.4で最も高く、次いで畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0、調理食品が47.5、水産食料品が45.5となっている。

図5 原料需給予測DI

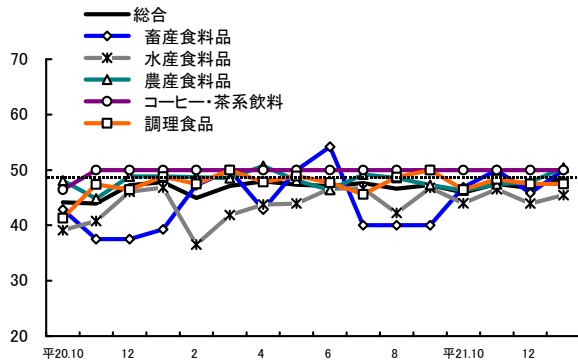


表5 原料需給予測DI

	平21.11月	12月	平22.1月	前月差
総合	47.5	46.7	48.6	1.9
畜産食料品	50.0	45.8	50.0	4.2
水産食料品	46.5	43.9	45.5	1.6
農産食料品	47.4	47.8	50.4	2.6
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	48.3	47.5	47.5	0.0

6 在庫水準DI

食品製造業における平成21年10月の在庫水準DIは51.6で、前月比1.2ポイントとなった。

業種別にみると、調理食品が58.3で最も高く、次いで水産食料品が50.8、農産食料品が50.4、コーヒー・茶系飲料が50.0、畜産食料品が45.8となっている。

図6 在庫水準DI

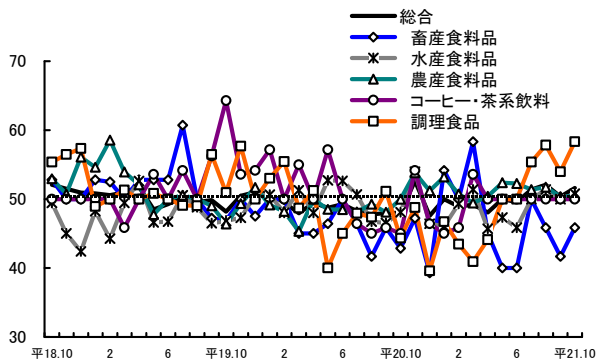


表6 在庫水準DI

	平21.8月	9月	10月	前月差
総合	52.1	50.4	51.6	1.2
畜産食料品	45.8	41.7	45.8	4.1
水産食料品	51.4	50.0	50.8	0.8
農産食料品	51.7	50.4	50.4	0.0
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
調理食品	57.8	53.9	58.3	4.4

【業種別の動向】

1 畜産食料品

畜産食料品の平成22年1月の売上予測DIは37.5で、前月とかわらない。一方、平成21年10月の売上実績DIは41.7で、前月比4.2ポイントとやや上昇している。

次に平成21年10月の製品販売価格DIは50.0で、前月比5.0ポイントと上昇している。平成22年1月の原料価格予測DIは50.0で、前月比▲4.2ポイントとやや低下している。

図7 畜産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

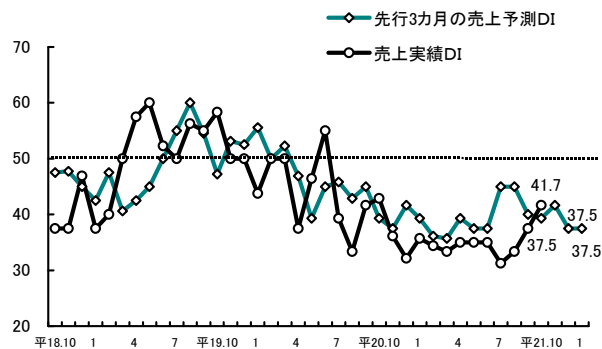
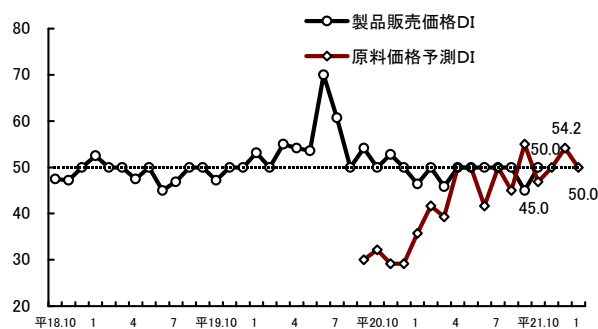


図8 畜産「製品価格DI、原料価格予測DI」



2 水産食料品

水産食料品の平成22年1月の売上予測DIは37.9で、前月比▲3.5ポイントとやや低下となっている。一方、平成21年10月の売上実績DIは41.9で、前月比▲2.2ポイントとやや低下している。

次に平成21年10月の製品販売価格DIは42.4で、前月比▲0.2ポイントとなっている。平成22年1月の原料価格予測DIは49.2と前月比▲4.2ポイントとやや低下している。

図9 水産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

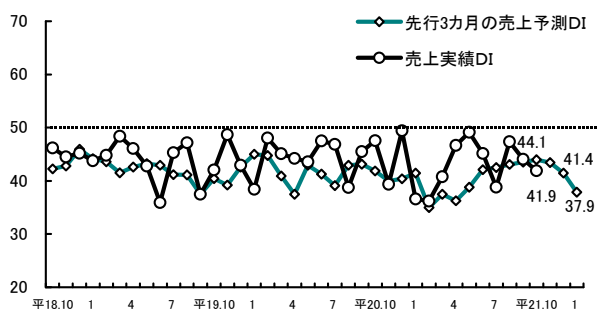
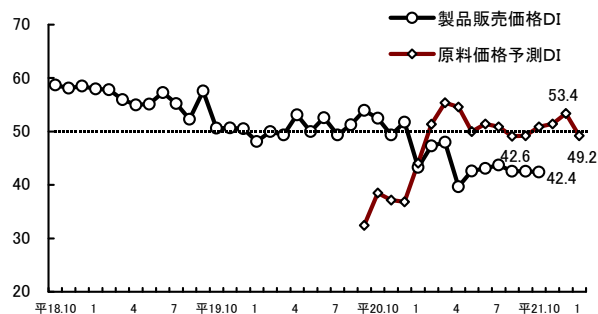


図10 水産「製品価格DI、原料価格予測DI」



3 農産食料品

農産食料品の平成22年1月の売上予測DIは37.3で、前月とかわらない。一方、平成21年10月の売上実績DIは34.3で、前月比1.0ポイントとなっている。

次に平成21年10月の製品販売価格DIは40.7で、前月比▲4.2ポイントとやや低下している。平成22年1月の原料価格予測DIは48.7で前月比0.9ポイントとなっている。

図11 農産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

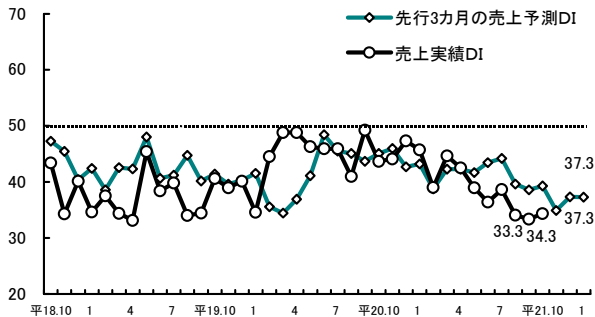
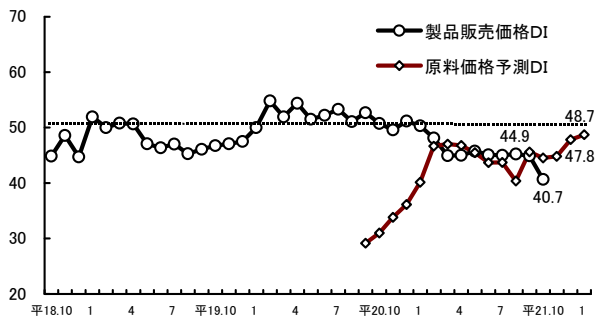


図12 農産「製品価格DI、原料価格予測DI」



4 コーヒー・茶系飲料

コーヒー・茶系飲料の平成 22 年 1 月の売上予測 DI は 30.0 で、前月とかわらない。一方、平成 21 年 10 月の売上実績 DI は 35.0 で前月比 5.0 と上昇している。

次に平成 21 年 10 月の製品販売価格 DI は 45.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 1 月の原料価格予測 DI は 50.0 で前月とかわらない。

図13 コーヒー・茶系飲料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

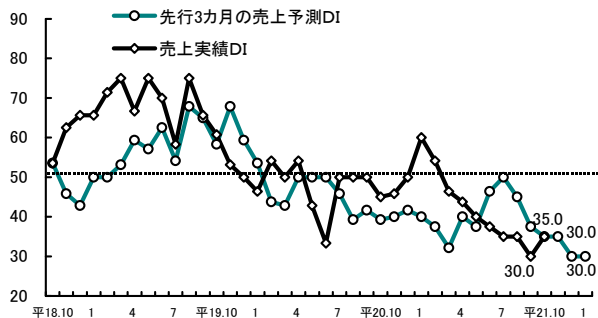
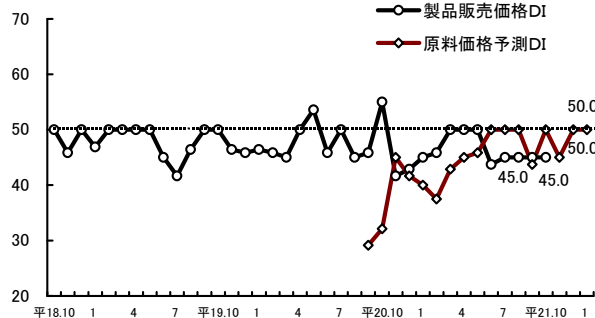


図14 コーヒー・茶系飲料「製品価格DI、原料価格予測DI」



5 調理食品

調理食品の平成 22 年 1 月の売上予測 DI は 39.3 で、前月比▲3.2 ポイントとやや低下している。一方、平成 21 年 10 月の売上実績 DI は 35.7 で、前月比▲1.8 ポイントとなっている。

次に平成 22 年 10 月の製品販売価格 DI は 47.6 で、前月比▲3.7 ポイントとやや低下している。平成 22 年 1 月の原料価格予測 DI は 47.5 で前月比 2.5 ポイントとやや上昇している。

図15 調理食品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

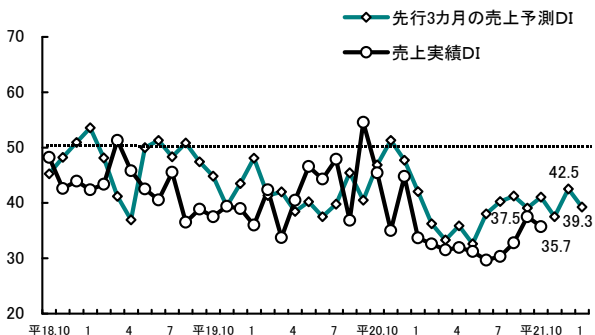
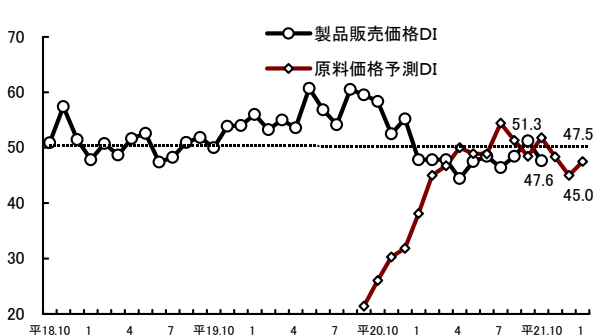


図16 調理食品 製品価格DI、原料価格予測DI



【 利用者のために 】

(1) 判断基準項目

- ・ 売上予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 売上実績 DI (当月の実績)
- ・ 製品販売価格 DI (当月の実績)
- ・ 原料価格予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 原料需給予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 在庫水準 DI (当月の実績)

※平成 20 年 6 月より調査開始。なお、従来調査していた原料価格 DI と原料需給 DI は取りやめた。

(2) DI の算出方法

- ① DI Diffusion Index の増減分岐点は 50%ラインが目安である。
(最高=100~最低=0)
- ② 指数は、回答の 5 段階選択肢「増加」、「やや増加」、「変わらない」、「やや減少」、「減少」(前年同期比)の構成比にそれぞれ+1、+0.75、+0.5、+0.25、+0 を乗じて算出。
注：原料価格予測 DI は、「上昇」、「やや上昇」、「変わらない」、「やや低下」、「低下」の構成比にそれぞれ+0、+0.25、+0.5、+0.75、+1 を乗じて算出。「やや低下」、「低下」の割合が高いほど指数が高く、製品販売価格 DI とは算出方法が異なる。
- ③ なお、DI の算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けを行って
おらず、「1 社 1 票」の単純平均である。

<前月比の増減基準>

増加、上昇、良い、多め	: 5%以上
やや増加、やや上昇、やや良い、やや多め	: 2%以上~5%未満
かわらない	: ±0%以上~±2%未満
やや減少、やや低下、やや悪い、やや少なめ	: -2%以上~-5%未満
減少、低下、悪い、少なめ	: -5%以上

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

調査時点 平成 21 年 11 月

(4) 前月差については、ラウンドの関係で一致しないことがある。

本調査結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

農林水産省 [【http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html】](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html)

(社)食品需給研究センター [【http://www.fmric.or.jp/stat/index.html】](http://www.fmric.or.jp/stat/index.html)

発行日 平成21年12月4日発行

社団法人 食品需給研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

TEL : 03-5567-1991 FAX : 03-5567-1960

<http://www.fmric.or.jp>
